

平成26年

一級建築士試験
合格者座談会

■司会 山下さんと小沢さんは初受験で学科と製図を突破ですね。本当にお見事です。

山下 ありがとうございます。私は職場で受験宣言をしたんですが、時間面で配慮していただくなど周りの理解を得られたことが大きかったですね。

■司会 受験宣言によるプレッシャーも大きかったのでは？

山下 そうですね、でもそのプレッシャーがモチベーション維持にも役立ちました。

小沢 自分も職場で前年合格した人から紹介されてTACに入りましたから、その人の手前、合格しなきゃ恥ずかしい、という気持ちが強かったです。

■司会 なるほど。では、最初に学科試験について伺います。本試験に一発合格した決め手は何だと思えますか？

山下 メンタル面では家族も含めた周りの人たちの理解、テクニック面では丁寧に問題練習をやったことだと思います。

■司会 問題練習について、もう少し具体的に教えてください。

山下 問題集を解いていると、分かったような気になることが多いんですけど、テストをやると間違えちゃう。結局、中途半端な理解なんですよね。なので、問題集はとにかく解説を丁寧に読み、分からない時はテキストに戻る、ということだけは習慣づけました。

■司会 小沢さんはいかがですか？

小沢 僕は、合格までに自分がしなければならぬことを考え、限られ

た学習期間のなかでどのようにそれを実現するか、**スケジュールを綿密**に立てました。そうすることによって、今やらないといけないことははっきりしますから。

■司会 そのスケジュールは計画通りにこなせましたか？

小沢 そうですね。当初から構造と法規はじっくりやって、計画と施工は最後に暗記することにしていました。暗記でいけるもの、そうでないものを分けていたので、だいたいスケジュール通りにできたかと思います。

■司会 うーん、受験慣れしてますねえ。

小沢 そうですね、大学受験や公務員試験の時と基本的には同じだと思っていました。

■司会 そうですよ。学科試験は択一ですから、大学受験等の他の試験と学習方法は変わらないですよ。

小沢 全くその通りだと思います。

■司会 では、製図試験について伺いましょう。桶川さんは製図が2度目で合格ということですが、1度目の昨年と違っていたのはどんなことですか？

桶川 昨年は何もかも初めてで、分からないことだらけでした。しかも、求められた課題数が多くて、結局は消化不良で本試験を迎えてしまったんです。だから、山下さんたちのように1回で合格はすごいと思います。

■司会 2回目で合格も十分すごいですよ。

桶川 ありがとうございます。今年はTACで8課題に集中したので、自分の**弱点克服に使える時間が確保**でき、きちんと消化できたことが大きな違いだと思っています。

小沢 僕も製図は図面を描いたことがなかったので、なかなか線をきれいに描けず、最初は時間もかかっていました。最後の2週間くらいで宿題も含めたTACの全課題をワーツと一気にやりました。すべてエスキスは2パターンくらいはつくっていました。

■司会 今回の本試験の問題を見て、当日はどのように感じましたか？

桶川 TACでやった課題と似ている、と感じました。なので、試験当日も安心してエスキスを行い、1年目に比べてかなり時間的にも余裕をもって作図まで終えることができました。

小沢 僕も、本試験はTACの課題と似ていると思い、やさしく感じました。エスキスは1時間45分、記述に1時間、残りは作図に当てました。手ごたえはありました。

山下 私はエスキスが1時間くらいでできたので、作図もあわてないですみました。試験会場で周りを見るときまだ作図に入っていない方がほとんどのようだったので、ちょっと安心しました。

■司会 平成21年の試験制度の改訂後は、毎年オーソドックスな課題ですからね。ただ、その分、答案は高い**完成度**が求められますよね。

桶川 そうですね。思い込みや決めつけは危険なので、とにかく、「問」に対して率直に解答することが大切だと思います。

小沢 そう。プランニングは楽しいので、つい自分勝手なことをしがちだけど、あくまで試験の答案なので、「**問に解答すること**」が重要なんですよ。そのあたりを先生に指摘していただきました。

■司会 なるほど、講師とのコミュニケーションはいかがでしたか？

小沢 毎回の自分のプランニングを覚えていてくれて、いつもの確にポイントを絞って教えてくれた点は大変感謝しています。

山下 休み時間や授業の後に質問の時間を取ってくれて、端的に回

答していただいたので、とても信頼することができました。

桶川 質問にはいつも理由を付けて回答してくれたので、分かりやすかったです。

■司会 なるほど。答案というと、作図だけじゃなくて一級は記述問題もかなりの量になりますが、記述問題はどのように対応されましたか？

小沢 毎年問われている内容が大きく変わっていないので、記述はTACの課題にあるものを繰り返し練習することで十分対応できました。

桶川 私は設備関連の記述が苦手だったんですが、TACでは「道の駅」という課題から、設備も絞り込んで教えていただいたので、不安なく書くことができました。

山下 作図と同じですが、丁寧な文字で分かりやすい文章を書くことに注意しました。内容的にはTACで教えていただいたことで十分でした。

■司会 なるほど。さて、最後にこれから一級建築士を目指す方にアドバイスがありましたらお願いします。

桶川 私は、TACの質問メールをたくさん利用させていただいたんですが、その回答がとても丁寧で、今でも感謝しています。これは皆さんにも是非お勧めですね。

山下 最初にもお話しましたが、長丁場の学習なので、周りの人たちの理解が本当に大切だと思います。なので、**ミカタを作って**勉強してほしいですね。

小沢 製図試験という特殊な試験形態には、できるだけ早く慣れるべきですね。**課題を形に変える訓練**をたくさんやってください。

■司会 皆様、本日はどうもありがとうございました。



合格者PROFILE
小沢 淳さん(25歳)
学科1回、製図1回で合格
勤務先・行政
新宿校



合格者PROFILE
桶川 容子さん
学科1回、製図2回で合格
勤務先・行政
新宿校



合格者PROFILE
山下 逸美さん(30歳)
学科1回、製図1回で合格
ハウスメーカーの設計
新宿校